

大学ファクトブック 2019

「組織」対「組織」の本格的産学連携の拡大に向けて

令和元年7月19日

一般社団法人 日本経済団体連合会

経済産業省

文部科学省

はじめに

Society 5.0 の実現に向けて、産業構造が資本集約型から知識集約型に大きく変化しようとしている中、産学官連携の拡大によるオープンイノベーションの必要性が、ますます広く認識されるようになりました。

政府では、「2025 年までに大学・研究開発法人等に対する企業の投資額を 2014 年の水準の 3 倍とすることを目指す」という目標を掲げています。この達成に向けて、平成 28 年 11 月には、産業界からみた大学等の課題とその処方箋を示すことで、「組織」対「組織」の本格的な産学官共同研究を進めることを目指した「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」¹を策定しました。

「大学ファクトブック」は、大学における上記ガイドラインに基づく取組の状況や、産業界との連携実績などのデータを、比較評価が可能なかたちに「見える化」することで、産業界と大学の連携を更に促進することを目指しています。

企業の皆様におかれては、本ファクトブックを通じて大学の強みや特徴を把握し、またそれぞれの大学が進めている産学連携体制の整備状況を比較・評価することで、大学の「知の価値」に対して投資を行う参考にしていただきたいと思います。

大学の皆様におかれては、本ファクトブックを通じて他の大学と自らの大学の取組を比較することで、自らの強みや特徴を確認し、また、改善の余地を見出すことで、企業とのパートナーシップを更に深めるきっかけにさせていただくことを願っています。

1 平成 28 年 11 月 30 日 イノベーション促進産学官対話会議事務局

目次

STRUCTURE 本書の構成	5
------------------------	---

1. OVERVIEW 全体の概観

How to Read 項目別ランキング・トピックスの見方	7
-------------------------------	---

① Ranking 項目別ランキング	8
--------------------	---

② Topics トピックス	10
----------------	----

2. INDEX ファクトシート索引

How to Use ファクトシート索引の使い方	17
--------------------------	----

① Collaborative Research Inflows 共同研究受入額順（設置主体別）	18
--	----

② Japanese Syllabary 五十音順	22
---------------------------	----

③ Technical Field Ranking IPC 技術分野別出願動向ランキング順	26
---	----

3. FACT SHEETS 大学別ファクトシート

How to Read 大学別ファクトシートの見方	41
---------------------------	----

② National 国立大学	43
-----------------	----

② Municipal 公立大学	211
------------------	-----

③ Private 私立大学	333
----------------	-----

本ファクトブックは、大きく3つのセクションに分かれています。

セクション1 OVERVIEW 全体の概観

個々の大学の強みや特徴を「見える化」するため、大学ごとのファクトデータを様々な観点から大学間で比較・分析します。



セクション2 INDEX ファクトシート索引

大学別ファクトシートの検索性を高めるため、①共同研究受入額順（設置主体別）、②五十音順、③IPC 技術分野別出願動向ランキング順 の3種類の索引を提供します。



セクション3 FACT SHEETS 大学別ファクトシート

本書のメインコンテンツである、大学別の産学連携に関するファクトデータを網羅したファクトシートです。

1. Overview 全体の概観

ここでは、個々の大学の強みや特徴を「見える化」するため、大学ごとのファクトデータを様々な観点から大学間で比較・分析します。

How to Read 項目別ランキング・トピックスの見方

① 項目別ランキング

「項目別ランキング」は、自らの大学の取組を他の大学と比較することで、自らの強みや特徴を確認し、また、改善の余地を見出すきっかけとするため、平成 29 年度経済産業省「地方産学官連携に関する実態調査」及び平成 30 年度経済産業省「大学、企業等における産学官連携の実態に関する調査」、並びに平成 28、29 年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」の結果¹に基づき、大学別の共同研究受入額等について、上位 30 件までをランキング形式で掲載している。

Ranking 項目別ランキング：共同研究



大学名の左の記号及び数字は、矢印が前年度からの増減、中央の数字が直近調査の順位、右隣の括弧内の数字が前年度調査の順位を表している。なお、「-」は前年度欄外であったことを表す。データの引用元については、各項目に記載している。

② トピックス

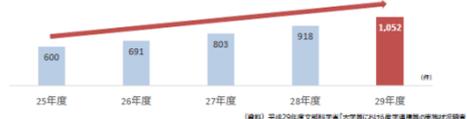
「トピックス」は、大学におけるガイドラインに基づく取組とその成果について、個々の大学の置かれた現状を明確にするため、テーマごとの全体の状況について概観できるデータを整理した。データの引用元については、各項目に記載している。

Topics トピックス：大型共同研究*について

* 受入額1千万円以上の民間企業との共同研究

○ 大型共同研究 実施件数の推移

● 近年、大型共同研究が右肩上がりで増加している。



○ 大学等と民間企業との共同研究における研究費の規模別内訳

● 大型共同研究は、件数で見ると全体に占める割合は小さいが、額で見ると全体の半分近くを占め、大学における共同研究の受入額への影響が大きい。



¹ 調査結果については、以下も参照。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/1413730.htm

Ranking 項目別ランキング：共同研究

①共同研究受入額



②共同研究件数



③大型共同研究費受入額



④大型共同研究件数



(資料) 平成28、29年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」

(資料) 平成29年度経済産業省「地方産学官連携に関する実態調査」及び平成30年度経済産業省「大学、企業等における産学官連携の実態に関する調査」

○ 大型共同研究 実施件数の推移

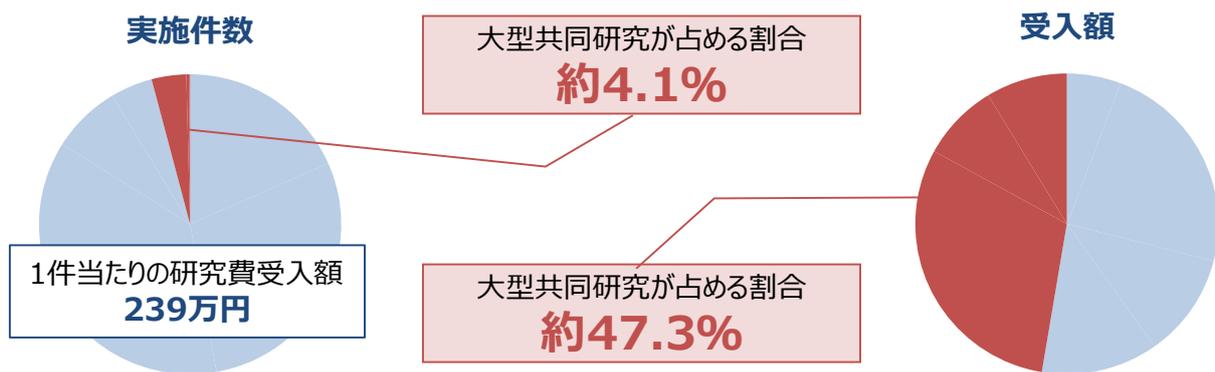
- 近年、大型共同研究が右肩上がり増加している。



(資料) 平成29年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」

○ 大学等と民間企業との共同研究における研究費の規模別内訳

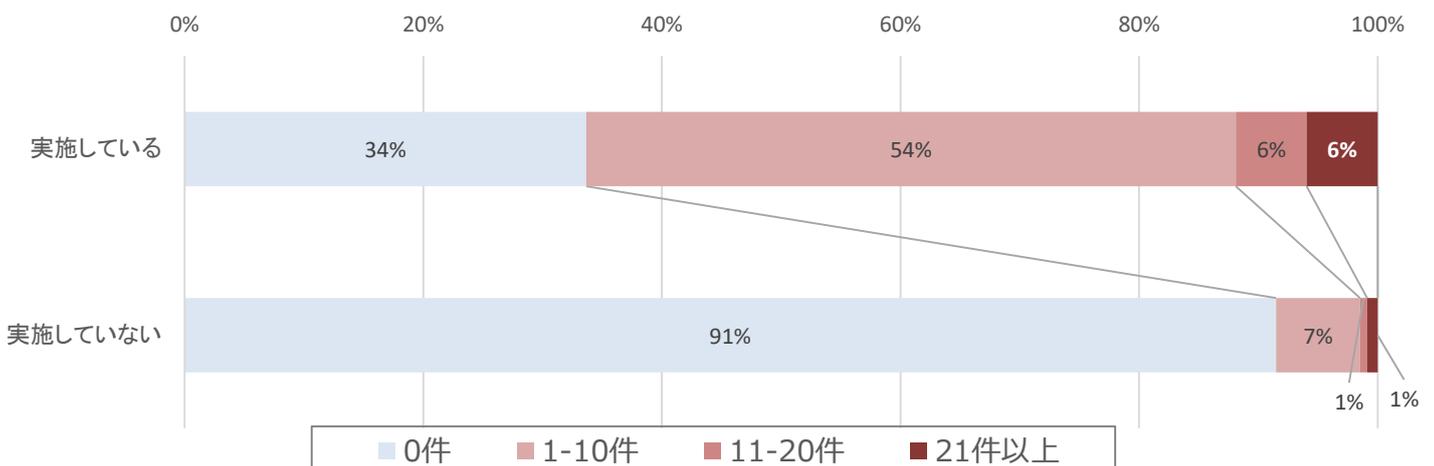
- 大型共同研究は、件数で見ると全体に占める割合は小さいが、額で見ると全体の半分近くを占め、大学における共同研究の受入額への影響が大きい。



(資料) 平成29年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」

○ 産学連携本部による「企画・提案」実施の有無と大型共同研究規模別割合

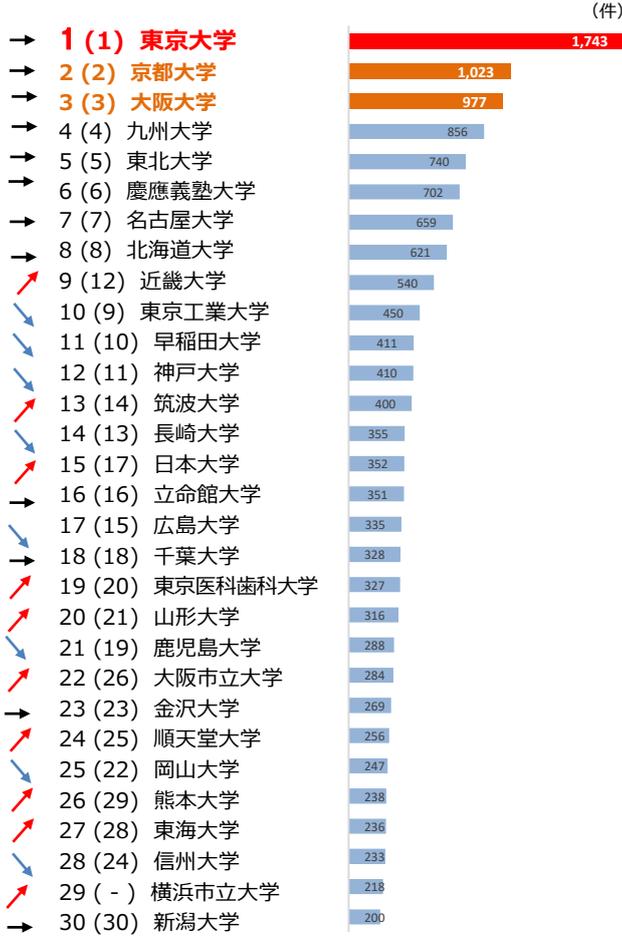
- 大学の産学連携本部において、民間企業への共同研究の「企画・提案」を実施している大学は、実施していない大学と比べて、大型共同研究の実施率が高い。



* 「実施している」大学=101、「実施していない」大学=341
10 (資料) 平成30年度経済産業省「大学、企業等における産学官連携の実態に関する調査」

Ranking 項目別ランキング：受託研究・特許関係

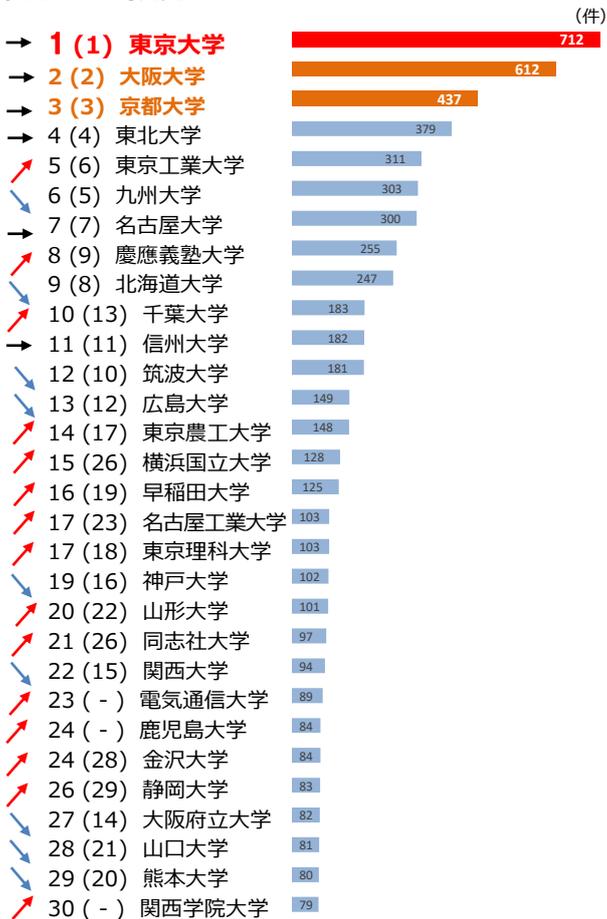
⑤受託研究件数



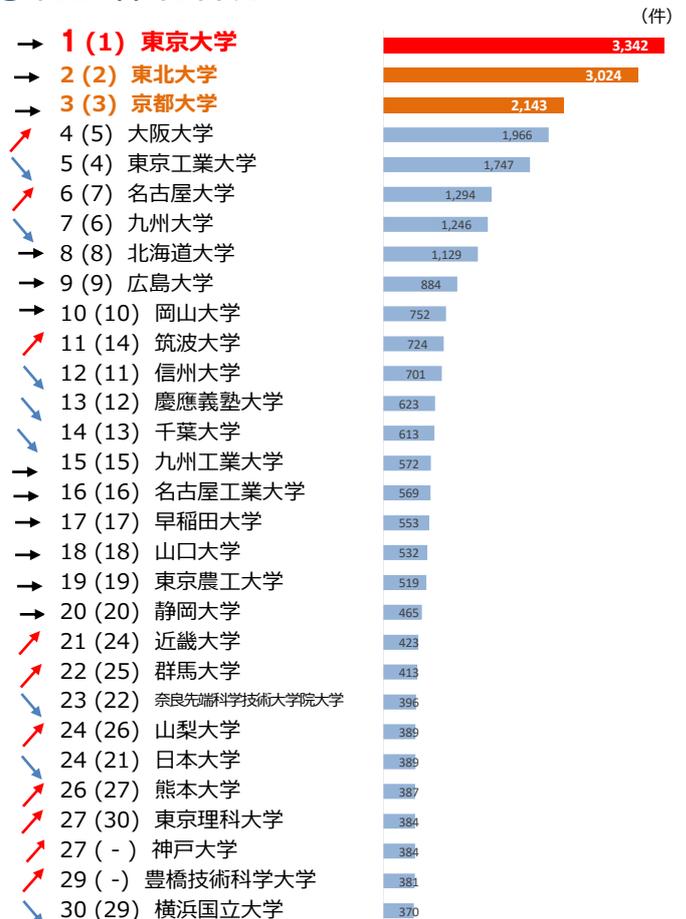
⑥受託研究受入額



⑦特許出願数



⑧特許保有件数



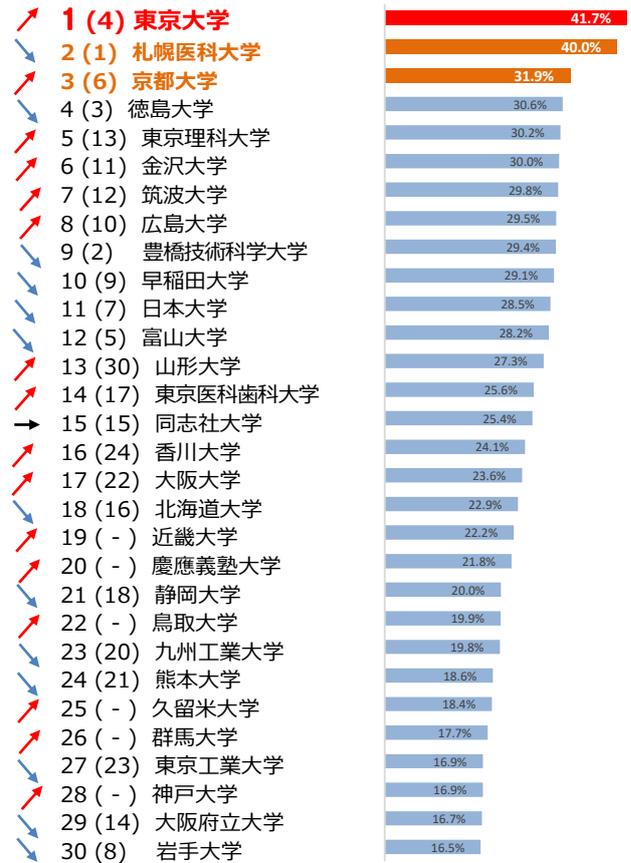
Ranking 項目別ランキング：特許関係

⑨特許実施等件数



⑩特許保有件数のうち実施許諾中の特許件数の割合

*特許権保有数が100件以上の機関を対象



⑪特許実施等収入



⑫研究者*1人当たりの特許権実施等収入額

*「府省共同研究開発管理システム (e-Rad)」に登録されており、かつ「科学研究費助成事業 (科研費) の応募資格を有する研究者」。ただし、e-Radに登録が無い研究機関は、研究機関が把握している研究者とした。



Ranking 項目別ランキング：地域社会との産学連携関係

○ 同一県内企業*及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数（地方別）

* 大学等と契約した企業が同一都道府県内にある企業



